

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療連携の推進

[計画 記載ページ P.27]

地域における医療機能の分化に伴い、基幹病院として求められる高度・特殊な医療を確実かつ効率的に提供していくため「かかりつけ医制度」を推進し、地域医療機関との患者の紹介・逆紹介を進めます。また、検査機器の共同利用など、地域医療を担うかかりつけ医等を支援しながら、「地域医療支援病院」の承認を目指します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①地域医療支援病院の継続
- ②地域医療連携の会の開催
- ③紹介元医療機関への返書等による情報交換の推進
- ④病院・診療所等訪問の実施
- ⑤PET-CT等検査機器の共同利用促進
- ⑥県難病医療支援病院としての取組の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				承認	継続	継続	継続	28年度承認
地域医療支援病院の承認	目標値			承認	継続	継続	継続	
	実績値		承認	継続	継続	継続	継続	
	評価			3	3	3	3	
紹介率	目標値			50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%以上
	実績値	53.7%	61.7%	60.9%	66.0%	68.7%	71.3%	
	評価			1	1	1	1	
逆紹介率	目標値			70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%以上
	実績値	72.3%	78.8%	79.6%	84.6%	79.8%	92.5%	
	評価			1	1	1	1	
検査機器の共同利用件数	目標値			420件	440件	460件	480件	500件以上
	実績値	412件	458件	434件	411件	637件	817件	
	評価			3	4	1	1	



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

・「地域医療連携の会」を9月に開催しました。前年度を上回る多くの医療機関等に御参加いただき、当院の取組状況等について、情報発信を行うとともに、医師の顔の見える関係を構築することで、地域の医療機関等との連携強化に繋がりました。
 ・返書の実施状況を委員会等で確認し、返書を含めた情報交換の推進を図っています。
 ・延べ212件の医療機関を訪問しました。川崎市内だけでなく、大田区、鶴見区の訪問も強化し、新たに連携登録医が50機関以上増加するなど、地域との連携関係強化に努めました。
 ・検査機器の共同利用については、特にPET-CTの利用促進のため、令和2年度も近隣の医療機関へ積極的に訪問し説明を行う等、引き続き利用の推進に向けた取組を行っていきます。

A
目標を大きく上回って達成

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●病院の初診に係る 保険外併用療養費 の見直し検討	目標値			改定(引上げ)	維持	維持	維持	維持
	実績値		準備	改定(引上げ)	維持	維持	維持	
病院の再診に係る 保険外併用療養費 の新設	目標値			新設	維持	維持	維持	維持
	実績値			新設(10/1)	維持	維持	維持	
●WEB検査予約シ ステムの導入	目標値			導入	導入	導入	導入	
	実績値		準備	導入	導入	導入	導入	
●地域連携クリニカ ルバスの積極的な 活用【適用数】	目標値			75件	75件	75件	75件	75件
	実績値	70件	69件	61件	53件	56件	69件	
開業医訪問数	目標値			80件	80件	80件	80件	80件
	実績値	6件	13件	42件	54件	103件	212件	